

「第3次八幡浜市総合計画」
策定に係るワークショップ
(産業・子育て)

実施報告書

令和7年6月
愛媛県 八幡浜市

目 次

1 ワークショップの概要.....	1
(1)ワークショップの目的.....	1
(2)ワークショップの実施テーマ.....	1
(3)ワークショップのプロセス	1
2 ワークショップ当日の流れ	2
(1)オリエンテーション.....	2
(2)テーブルに分かれて意見出し	4
(3)「テキストマイニング」での可視化.....	4
3 【産業】ワークショップ結果	5
(1)テキストマイニング	5
(2)全体意見のまとめ.....	9
4 【子育て】ワークショップ結果	11
(1)テキストマイニング	11
(2)全体意見のまとめ.....	16



1 ワークショップの概要

(1) ワークショップの目的

「第3次八幡浜市総合計画」を、地域住民の声や意見を反映した計画とするために、自由に意見交換ができる参加体験型の会議(ワークショップ)を実施しました。会議では、誰もが安心して暮らし続けられるまちを目指し、地域の魅力や課題、そしてその課題を解決するための具体的なアイデアを考えました。

(2) ワークショップの実施テーマ

人口減少や少子高齢化の進行、地域の人間関係の変化など、地域を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。未来の地域の姿を思い浮かべながら、地域の課題や良い点を共有し、これからの10年間で目指してほしいまちの姿について、意見を挙げていただきました。

産 業： 八幡浜市はどんな将来を目指せばいいか

子育て： 八幡浜市が子育てしやすいまちになるためには、どうしたらいいか

(3) ワークショップのプロセス

実施手法については、それぞれのテーマ(課題)ごとに Google フォームを用いて意見を入力していただき、テキストマイニングで随時「見える化」をしました。そして最終的にテーマ(課題)の解決に向けたアイデアを、各個人ごとに取りまとめていただきました。

■ ワークショップ開催スケジュール

区分	対象	開催場所	開催日時	参加人数
産業	一般 市民	八幡浜市民 文化活動センター Comican(コミカン)	令和7年3月19日(水) 19:00~20:30	住民 35 名 職員5名
子育て	子育て 世代	八幡浜市民 文化活動センター Comican(コミカン)	令和7年5月28日(水) 19:00~20:30	住民 19 名 職員4名

2 ワークショップ当日の流れ

(1) オリエンテーション

ワークショップの冒頭では、参加者の皆さんに対し、実施の目的や趣旨を共有しながら説明を行いました。あわせて、統計資料などから見える八幡浜市の現状について、クイズ形式を取り入れながら紹介し、地域の今の姿や将来像を思い描いていただけるような導入としました。

■産業 スライド（一部抜粋）

**みんなで語ろう！
八幡浜市のまちづくり**

住民
ワークショップ

自分たちができる、自分たちにしかできない
まちづくりってなんだろう？

本日はよろしくお願いします。
開始まで、しばらくお待ちください。

総合計画とは何か？

総合計画とは、地方自治体の全ての計画の基本で、総合的に計画的な行政運営を行っていくための全ての基本となる計画のことです。

総合計画は「基本構想(10年計画)」「基本計画(前後期5年計画)」「実施計画(3年計画)」の3つの階層で構成されており、計画にはどのような「まち」に将来的にしていけるのか、そのためにどんな施策を今後行っていくのかといったことが盛り込まれています。いわば、**まち作りのための「道しるべ」**のようなものです。

「基本構想」
市全体の長期的な発展に関する構想で、計画期間は10年です。

「基本計画」
基本構想に基づき行政運営の方向性を明らかにするとともに、各分野の施策・取り組みを明確・体系化し、成果指標の設定などを行う計画で、前期5年、後期5年間の期間で計画を立てます。

実施計画
実施計画は、基本計画で示した施策に基づき、主要な事業等を具体的に押し、事業の進捗管理を図りながら、社会経済情勢や市民ニーズの変化にも迅速かつ的確に対応するため、3か年を期間として策定し、年度必要な点検・見直しを行います。

問 2

八幡浜市の2020年(令和2年)産業構成比において、**1次産業**(農業・酪農畜産・林業・漁業等)は全体の半分以上を占めている。

O or X



このような内容を踏まえ、
次期総合計画の
「基本構想(将来像)」を
考えることが、
今回の住民ワークショップです

ワークショップの進め方

- まち全体の産業に関する視点から、まちの現状・課題と、その解決策を考えます
- それぞれ出題するテーマについて産業毎の視点からWEB上の回答フォームへ自由に書き込みをします
- 書き込んだ内容については集約し、**テキストマイニング**でその場で見える化をします

■子育て スライド（一部抜粋）

みんなで語ろう！ 八幡浜市のまちづくり



八幡浜市が子育てしやすいまちになるためには
どうしたらいいんだろう？

本日はよろしくお願いします。
開始まで、しばらくお待ちください。

八幡浜市が魅力あるまちであり続けるため
に、まちを築くうえで何より重要な皆さんに

**八幡浜市が子育てしやすい
まちになるためにはどうしたらいいか**
を話してもらいます。

問 2

八幡浜市における2023年の年間出生
数は2000年（330人）の半分以下である。

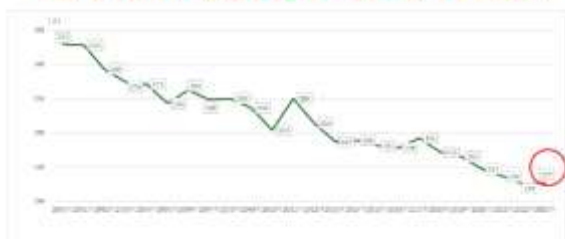


問 2

正解は・・・



出生数は2000年（平成12年）から
比べると2023年（令和4年）時点
で半分以下の**127人**となっています。



資料：住民基本台帳

ワークショップの進め方

- まちの子育てに関して、①あるもの、②ないもの、③欲しいものの3つの観点で意見を出していただきます。
- 意見出しの方法としては、WEB上の専用回答フォームへ自由に書き込みいただく形式です。
- 書き込んだ内容については集約し、**テキストマイニング**でその場で見える化をします

本日のメニュー 八幡浜市で子育てしていくうえで 必要なもの・ことを考えよう

- 子育てしていくうえで八幡浜市にあるもの
※テキストマイニングで確認
- 子育てしていくうえで八幡浜市にないもの
※テキストマイニングで確認
- 子育てしていくうえで八幡浜市にほしいもの
※テキストマイニングで確認

まとめ：子育てしていくうえで
八幡浜市に**必要なもの**について



(2) 参加者による意見出し

4～5人のテーブルに分かれて、「八幡浜市に今後目指してほしいまち」の形を実現するため、各回のテーマに応じて意見を出していただきました。

■当日の様子



(3) 「テキストマイニング」での可視化

意見は、グーグルフォームへ随時入力していただき、テキストマイニングを使用してその場で可視化することで、参加者全体で意見を共有しました。

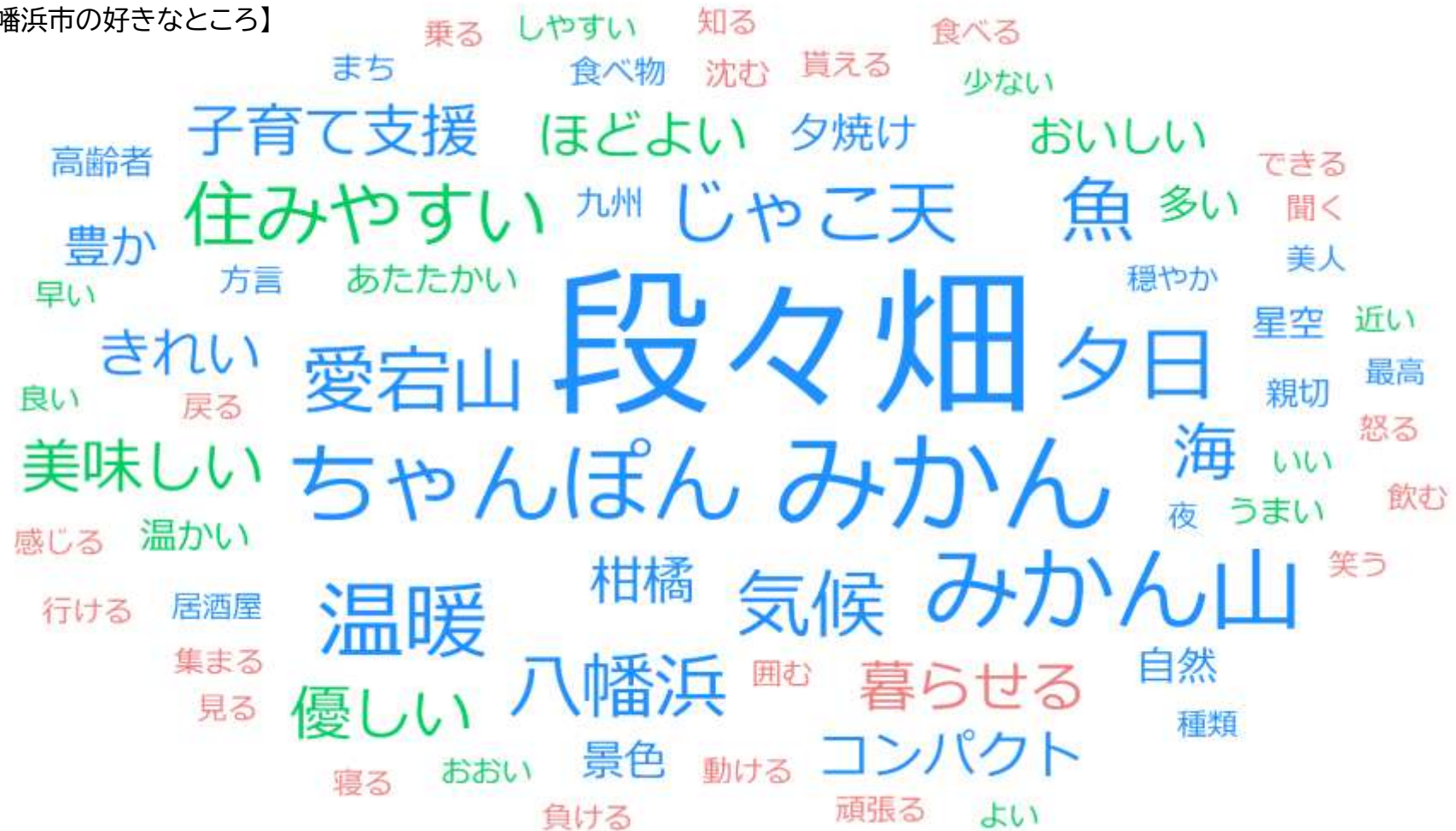
■テキストマイニングの様子



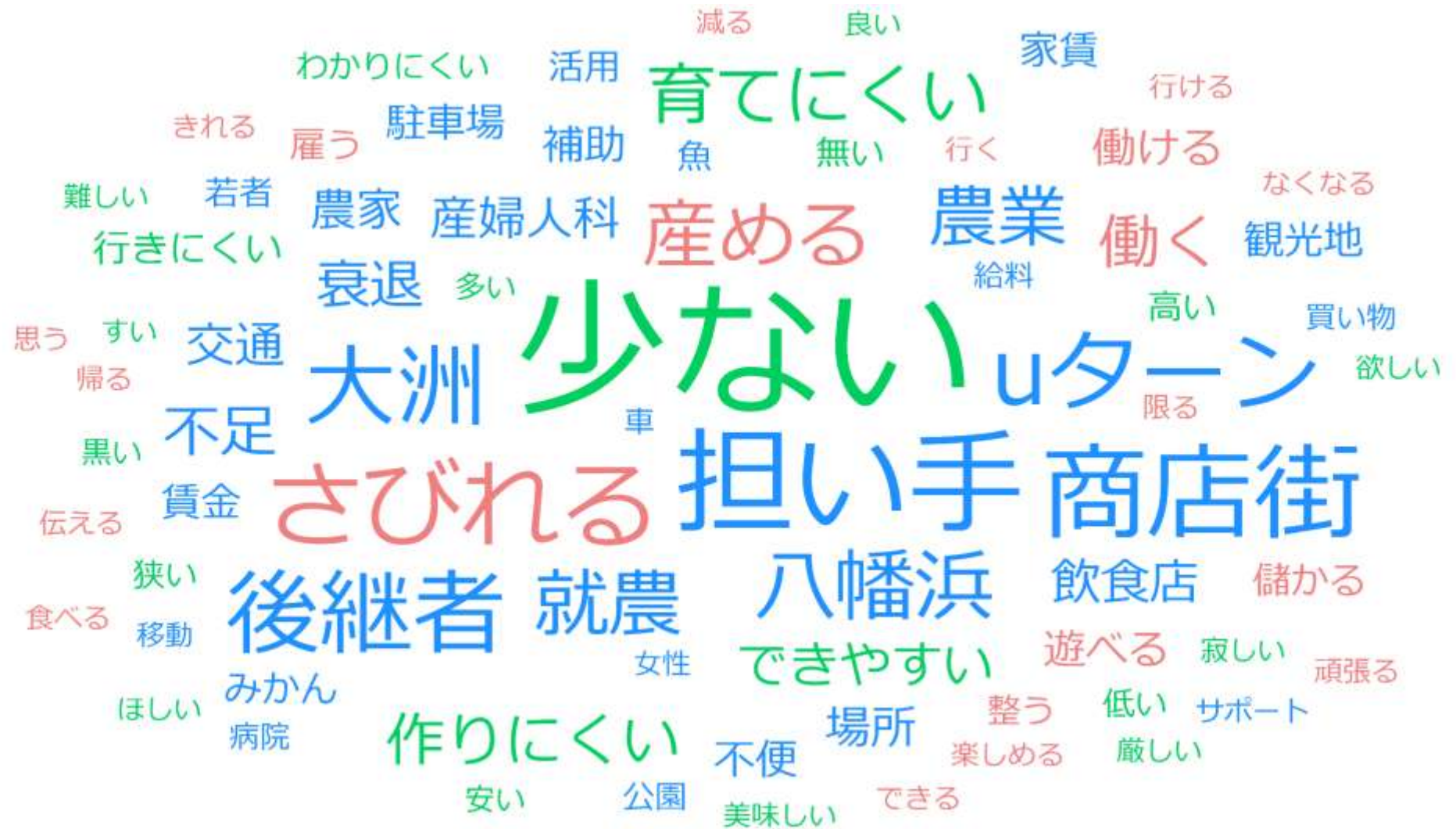
3 【産業】ワークショップ結果

(1) テキストマイニング

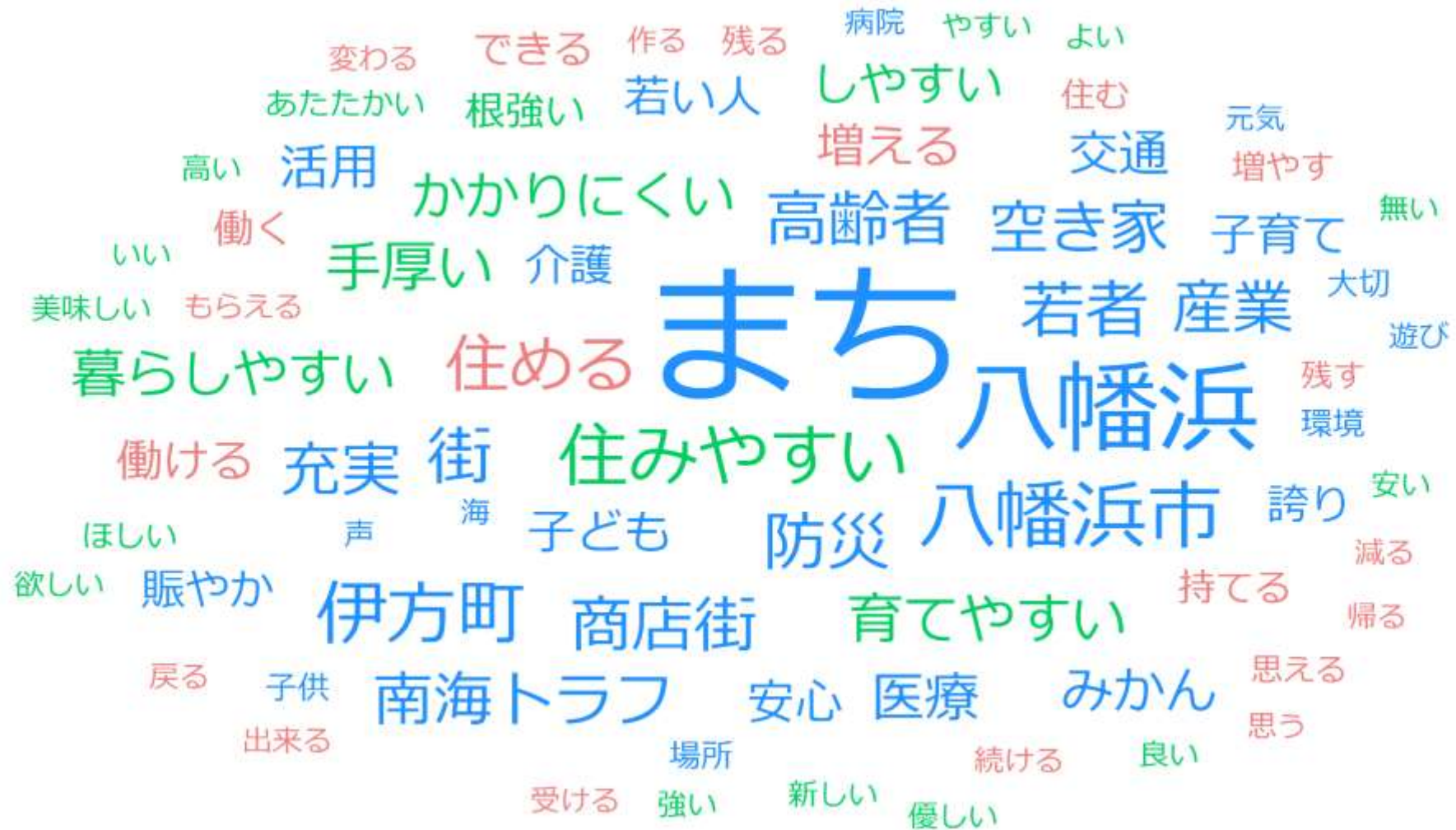
【八幡浜市の好きなところ】



【産業の現状・課題】



【10年後の八幡浜市に目指してほしいまち】



（２）全体意見のまとめ

【八幡浜市の好きなところ】

- 「食」に関する評価が目立ちます。特に「みかん」は圧倒的に多く言及されており、「美味しい(おいしい)」「種類が豊富」などの声が繰り返されています。また、「魚」や「じゃこ天」、「ちゃんぽん」といった海産物や郷土料理に対する好意的な意見も多数あり、地域の食文化が市民に深く愛されていることがわかります。加えて、飲食店への言及もあり、外食文化の充実ぶりも評価されています。
- 「段々畑」「みかん山」「海」「愛宕山」「夕日」「星空」など、自然の美しさに関する言及が多く、「風光明媚」「空気がおいしい」といった表現も見られます。温暖な気候や災害の少なさも、安心して暮らせる環境として好意的に受け止められているようです。
- 人の温かさや暮らしやすさも、多くの人が挙げています。「人が優しい」「人が温かい」「子育て支援が充実」など、人間関係のあたたかさに関するコメントが非常に多く、「住みやすい」「まちがコンパクトで便利」「夜静か」「治安がいい」など、日常生活の快適さに関する意見も散見されます。八幡浜市が物理的にも心理的にも“ちょうどいい”サイズ感と距離感のあるまちとして、愛されている様子がうかがえます。

【産業の現状・課題】

- 働く環境や雇用に関する課題が目立ちます。特に「仕事が少ない」「給料が安い」「働き口がない」といった声が繰り返されており、若者や女性が地元で職を見つけにくい現状が浮き彫りになっています。市外に出て就職する人が多く、「戻ってこない」「地元の魅力がない」という言及も多く見られます。
- 農業や漁業といった伝統産業の担い手不足が深刻です。「後継者がいない」「若い人が入らない」といった言葉が頻出しており、特にみかん農家や漁業の将来に不安を感じる声が目立ちます。また、「温暖化」や「漁獲量減」、「害獣被害(イノシシなど)」などの外的要因も農業を続けにくくしているという意見も多く、課題が複合的に絡み合っています。
- 日常生活に関わる不便さも多く指摘されています。「買い物できる店が少ない」「交通が不便」「商店街が廃れている」といった声が多数あり、特に車を持たない人や高齢者の暮らしに支障が出ていることが読み取れます。また、買い物などの目的で「市外に出る」ことが常態化しており、地域内で生活を完結させるのが難しい状況にあります。「産婦人科」がなく、子どもを産めない環境も問題です。

【現状と課題を受けて思い浮かぶ解決策】

- 「企業誘致」や「働く場所」に関する意見が非常に多く見られます。特に「企業を誘致して働く場所を増やす」「給料を上げる」などの声が繰り返されており、地域の「雇用創出」や「所得向上」が求められています。
- 「商店街」や「空き店舗」の活用に関する意見も目立ちます。「商店街にファミレスやカフェがほしい」「商店街を一旦解体」「空き店舗を活用したチャレンジショップ」「シャッターに絵を描いて“映え”スポットにする」といったアイデアから、「商店街の再生」や「若者による起業支援」への関心が高まっています。
- 「移住」「定住」に関する声も数多く見られ、「Uターン・Iターンの支援」「住みやすい町に」「家賃補助」「空き家や古民家の活用」などが挙げられています。さらに、「子育て支援」「女性が働きやすい環境」「お年寄りにも優しく」など、幅広い世代に配慮した「暮らしやすさの向上」が重視されています。
- 「観光」や「魅力発信」に関連する提案も多く、「観光地を増やす」「SNSで八幡浜の魅力を発信」「みなとと商店街を結びつける」「シャッターアートで観光地化」「食べ歩きや夜の街マップ」など、多角的な「地域の魅力発信」が模索されています。

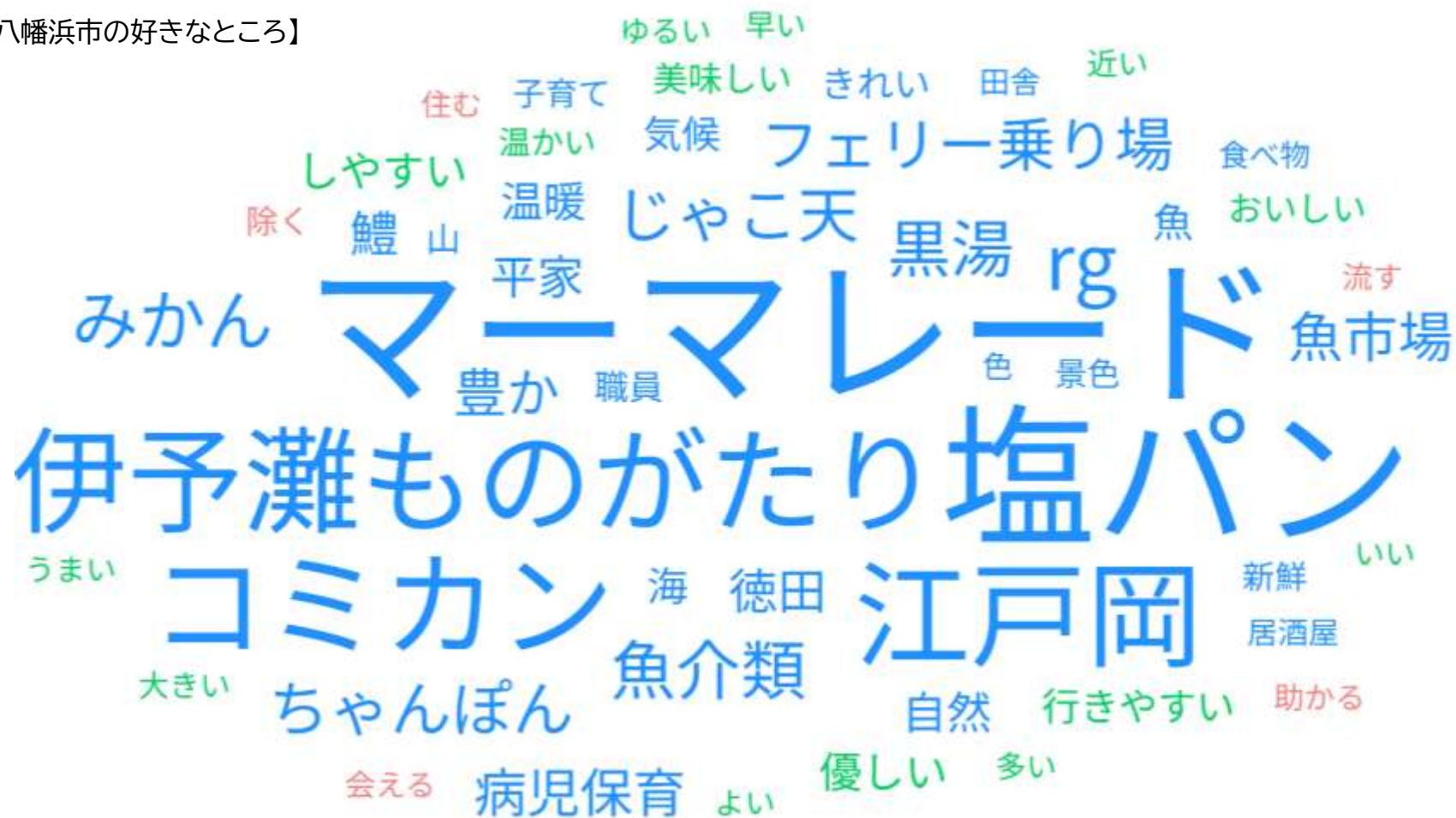
【10年後の八幡浜市に目指してほしいまち】

- 「住みやすい」「安心」「医療」「介護」「交通」などのキーワードが頻出しています。「安心して暮らせるまち」「医療や介護がしっかりしている」「公共交通の整備」など、日々の暮らしの土台となる生活インフラや福祉の充実を求める声が目立ちます。「空き家の活用」「交通の便」などハード面の改善に加え、「高齢者にやさしいまち」「誰も孤立しない」など、ソフト面の安心感や高齢者の暮らしやすさも重視されていることがうかがえます。
- 「南海トラフ」への危機感が強く、「災害に強い」「防災」の強化が求められています。
- 「若者」「子ども」「子育て」「働く場所」「Uターン・Iターン」「移住」などが多く挙がっています。将来を担う世代に焦点を当て、「子どもがたくさん」「若者が戻ってきたい」「働く場の創出」「子育て環境の充実」といった声が多く、人口減少への危機感があります。「女性が暮らしやすいまち」「産婦人科の設置」「子育てと仕事の両立」など、若い世代の生活環境整備に具体的な提案が見られました。
- 「みかん」「海」など、八幡浜ならではの“強み”と“にぎわい”を大切にしたいという声が集まっています。「みかんと魚のまち」「グルメと自然の情報発信」「観光客が来たくなる場所」「商店街が賑やか」「歴史ある建物が残る」など、地域の魅力を活かしながら、内外の人を惹きつけるまちづくりが望まれています。「伊方町」との連携を求める意見もありました。

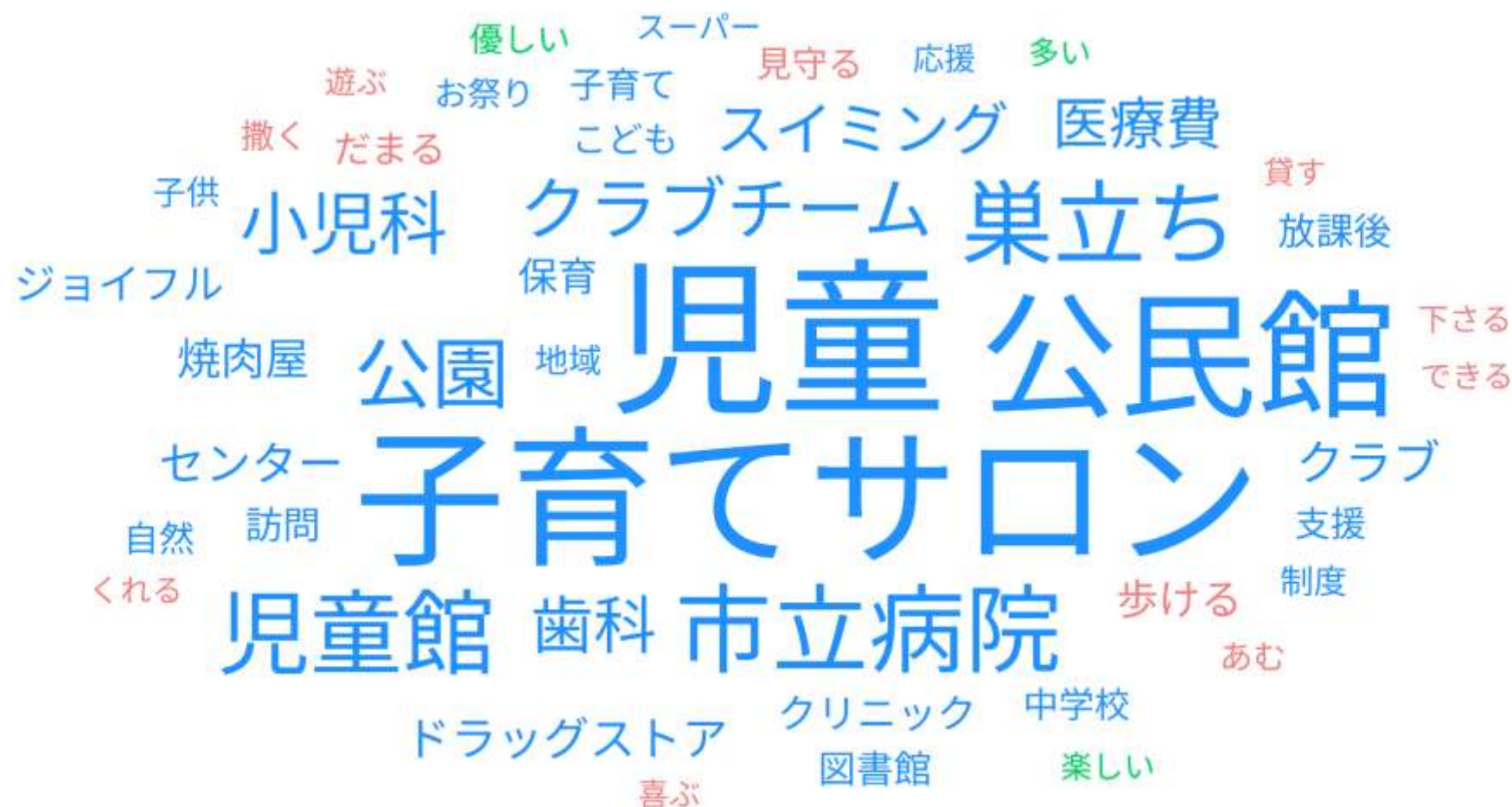
4 【子育て】ワークショップ結果

(1) テキストマイニング

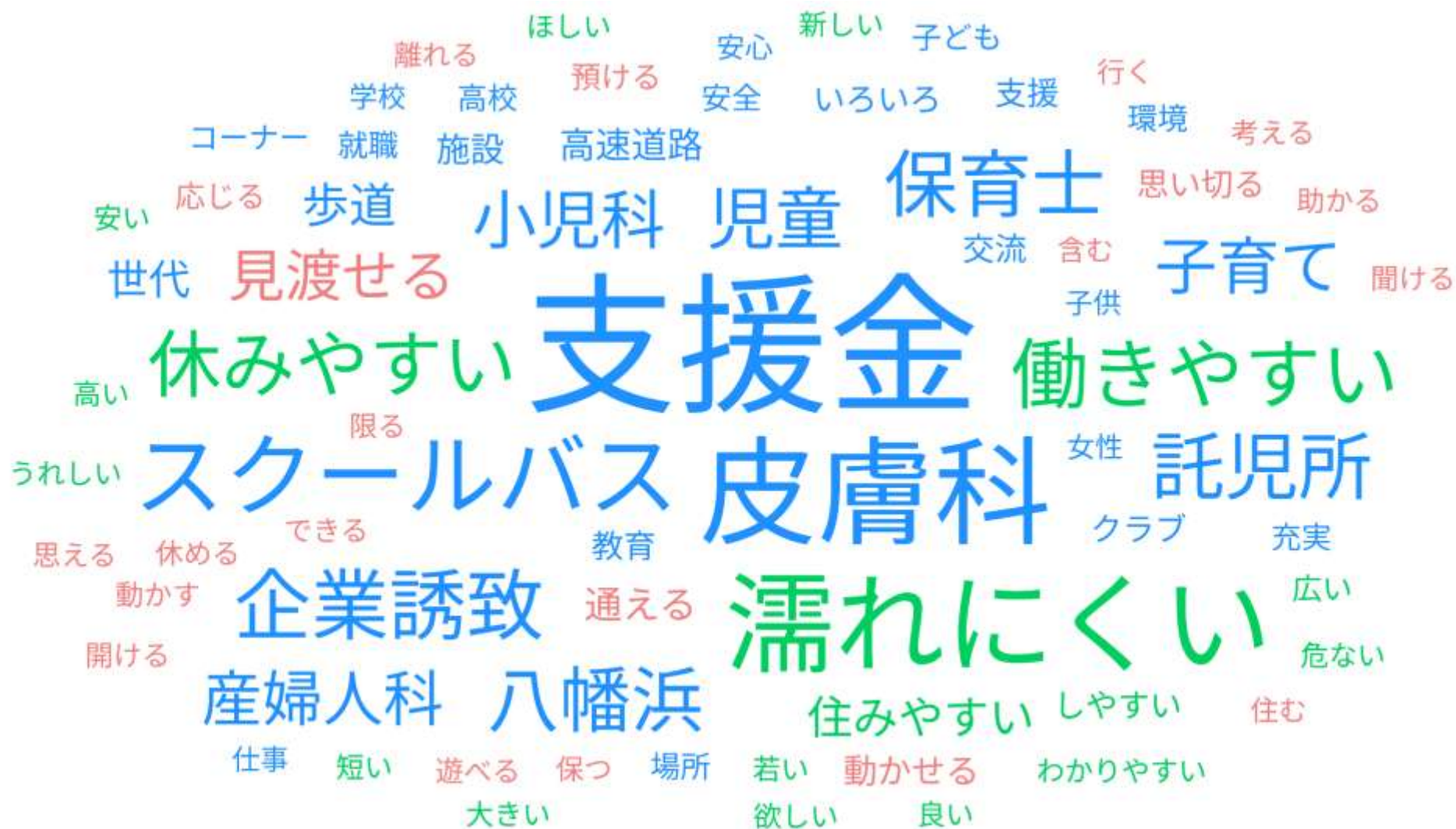
【八幡浜市の好きなところ】



【子育てをする上で、八幡浜市にあるもの】



【子育てをする上で、八幡浜市に必要なもの】



(2) 全体意見のまとめ

【八幡浜市の好きなところ】

- 「マーマレード」「塩パン」「じゃこ天」「ちゃんぽん」「みかん」「魚介類」など、地元グルメや特産物に関する言及が多く、「新鮮」「美味しい」といった評価が目立ちます。また、「自然が豊か」「海」「景色」など、恵まれた自然環境や温暖な気候が魅力とされています。
- 「人が優しい」「人が温かい」といった声が多く見られます。「のんびり」「穏やか」などの表現からも、地域全体のやわらかい雰囲気八幡浜市の魅力として印象づけられています。

【子育てをする上で、八幡浜市にあるもの】

- 「児童センター」「公園」「子育てサロン」「小児科」「図書館」など、子どもを安心して育てられる場所や施設への評価が多く見られます。加えて、「市立病院」「保育施設」「スイミング」「部活動」なども挙げられ、育児支援・教育・遊びの面で多様な資源が整っていることがうかがえます。
- 「地域の人が見守ってくれる」「お年寄りが子どもと遊んでくれる」など、人との関わりのあたたかさが評価されています。「公民館(活動)」「子育て応援ブック」「医療費無料」など、制度や地域活動を通じた支えもあり、まちぐるみで子育てを応援する雰囲気が見られます。

【子育てをする上で、八幡浜市にないもの】

- 「皮膚科」「産婦人科」「夜間救急」など、医療に関する不足が目立ちます。特に「皮膚科」は複数回挙げられています。「産後ケア施設」など出産・子育て期の医療体制の脆弱さが浮き彫りとなっています。
- 「子ども用品のお店」「西松屋」「遊具の多い公園」「屋内で遊べる場所」「ショッピングモール」「子どもと行ける飲食店」など、日常的に子どもと過ごす・買い物する環境の不足が多数挙げられています。また、「交通手段」「歩道の狭さ」「ガードレールの少なさ」など、安全に外出できるインフラ面の不安も多く、暮らしの利便性・快適性に課題があることがわかります。
- 「仕事」「高校」「大学」や遊び場所なども含め、「スポーツ等の選択肢」「なんでも選択肢が少ない」など、子どもの取れる選択肢の少なさが指摘されています。

【子育てをする上で、八幡浜市に欲しいもの】

- 医療・安全に関する要望が非常に多く、「皮膚科」「産婦人科」「救急病院」「順番待ちの無い病院」など医療機関の充実を求める声が目立ちます。また、「安全な通学路」「見守り隊」など、子どもの安心・安全を支える環境整備を望む意見が多く見られました。
- 「遊び場」「屋内施設」「公園」など、子どもが安心して遊べる場所へのニーズが顕著です。「大きな公園」「広い芝生」「アスレチック」などの具体的な希望も多く、天候に左右されず「屋内で遊べる場所」や「体操教室」「eスポーツ」など多様な年代の子どもが楽しめる環境の充実が求められています。
- 買い物・飲食・施設に関する要望も多岐にわたり、「ショッピングモール」「コストコ」「子ども服/用品が買える店」などの商業施設が求められています。また「子連れで行ける」「キッズスペース」など、子育て家庭に優しい飲食店・商業施設へのニーズも見られました。
- 子育て家庭への金銭的支援を求める声も多く見られます。「保育料無償」「制服無料」「学校教材の無償」「義務教育以上の子に向けた支援金」など教育関連の負担軽減を求める意見が目立ちます。また、「ランドセル配布」「避難グッズの無料配布」「児童クラブのお弁当配布」など、物資の提供も望まれています。

【子育てをする上で、八幡浜市に必要なもの】

- 医療と安全に関する要望が非常に多く見られます。「皮膚科」や「産婦人科」、「小児科」などの医療機関、中でも特に「皮膚科」が必要とされています。
- 「安全な通学路」や「スクールバス」、「街灯」「歩道」「ガードレール」など、子どもの安全な通学を守る環境が重視されています。また、「高速道路」「交通手段」など、交通インフラ整備も求められています。
- 経済的支援に関する意見も目立ちます。「子育て世代への支援金」や「入学・卒業の給付金」「義務教育の購入品の無償化」など、各ライフステージに応じた補助への期待が高く、「高校の給食」や「児童クラブの無償化」といった実質的な負担軽減を求める声が続いています。
- 子どもの将来・進路の選択肢も必要とされています。「高校」「就職できる企業」「高校卒業後の専門学校や就職先」などです。また、「子どもの数」「人口」が必要だとする意見もあります。
- 親や子育て世代を取り巻く環境の改善も求められています。「女性が働きやすい会社の誘致」や「企業誘致」、「休みやすい職場」といった職場・雇用に関することや、「子育て世代が住みやすい住宅」「安価な賃貸物件」など、住居に関する意見が並びました。「父親同士の交流の場」など親への支援や、「保育士の待遇改善」といった保育サービスの充実・維持につながる取組も必要とされています。
- 「隣接市町との連携(今日出た意見のほとんどは大洲市にあるのでは?)」といった意見もありました。

「第3次八幡浜市総合計画」
策定に係るワークショップ（産業・子育て）
【実施報告書】

発行年月： 令和7年6月

発 行： 愛媛県 八幡浜市 政策推進課

編 集： 愛媛県 八幡浜市 政策推進課

〒 796-8501

愛媛県八幡浜市北浜一丁目1番1号

T E L： 0894-22-3113

F A X： 0894-24-7700
